

## プロポーザル実施要領（抜粋）～15 審査（2）評価項目（提案審査共通）

### ウ 評価テーマに基づく業務実施方針及び手法

基礎的条件に基づき、次の項目についての的確性、独創性、実現性の高い提案がなされているか評価する。

#### 評価テーマ1 敷地条件への対応と配置計画

敷地条件、周辺環境、地域の気候風土を読み取り、的確な対応と配置計画がなされているか。令和8年4月の供用開始に向けて、既存校舎を活用しながら、造成工事、設備の切り替えなど、工種が錯綜するなかでの、工程調整と安全管理が実現可能な提案となっているか。

#### 評価テーマ2 新しい時代の学びを実現する学習空間

長期的な視点に立ち、新しい時代の学びの実践につながる学習空間の提案がなされているか。生徒の主体的な活動を支援し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るため、多様な学習内容、学習形態、弾力的な集団による活動を可能とする施設として計画されているか。

#### 評価テーマ3 安心・安全の確保と機能的な建築計画

災害や事故から生徒や教職員等を守り、生徒は豊かな生活の場として、教職員は働く場として落ち着いて過ごし、互いに支え合い、活動を見守ることができる計画であるか。一人一人の生徒の教育的ニーズを踏まえた指導・支援の実施を考慮した施設環境として計画されているか。的確な機能のつながりや動線計画により、最適な学習環境として授業・特別活動（体育祭等）・課外活動（部活動）を行うことができ、生徒および教員、学校運営に配慮した提案となっているか。

#### 評価テーマ4 地域との交流促進

学校教育機関として、地域との交流が生まれ、伝統の継承と創造による持続可能なまちの魅力を高める提案になっているか。

#### 評価テーマ5 構造・設備計画と持続可能な教育環境

教育や社会的な変化に柔軟に対応できる構造・設備の計画がなされ、再生可能エネルギーの活用をはじめとする環境に配慮した提案がなされているか。建設及び維持管理を通じたコスト管理、中長期修繕計画、施設の長寿命化を視野に入れ、ライフサイクルコストの低減につながる提案がなされているか。

提案審査配点

(a) 配点表

評価項目	評価の着目点		評価点(満点)		評価方法	
		判断基準		小計		
資格	専門分野の技術者資格	主任担当技術者	総合	5.0	20.0	左欄の小計に資格評価表によるウェイトを乗じて算出
			構造	5.0		
			電気	5.0		
			機械	5.0		
ポジティブアクション	学校の設計実績	「7 プロポーザル参加資格(8)」に掲げる条件のうち、教育施設(学校)の新增築又は改修設計業務の実績がある事業者。	5.0	10.0	左欄の小計に配置評価表によるウェイトを乗じて算出	
	教育研究技術者の配置	教育環境をテーマとする研究や業務を行う学識経験者、もしくは有識者で平成30年4月1日以降に1棟以上の教育施設(学校)の基本設計もしくは実施設計にアドバイスや、コンサルティングを行った者の人数	5.0			
業務実施方針及び手法	業務の理解度及び取り組み意欲	業務内容、業務背景、業務の全体計画の理解が高く、積極性が見られる場合に優位に評価する	10.0	70.0	左欄の小計に段階評価表によるウェイトを乗じて算出	
	業務の実施方針	業務への取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項等(評価テーマに対する内容を除く。)についての確性、独創性、実現性等を総合的に評価する。	10.0			
	評価テーマに対する技術提案	① 技術提案についての確性(与条件との整合がとれているか等)、独創性(工学的知見に基づく独創的な提案がされているか等)、実現性(提案内容が理論的裏付けされており、説得力のある提案となっているか等)を考慮して総合的に評価する。 ② ③ ④ ⑤	①10.0 ②10.0 ③10.0 ④10.0 ⑤10.0			
合計				100.0		